

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会

第3回 地域部会会議録

日 時 令和4年12月19日(月) 18時00分 開議

場 所 西小倉中学校 華道室(3階)

会 議 日 程

1. 地域部会協議

- (1) 第3回以降の地域部会の進め方について
 - ①検討スケジュールについて
 - ②ワークショップ形式による検討について
- (2) ワークショップ形式による検討
 - ①事務局よりテーマ・資料等の説明
 - ②グループワーク(意見交換・意見整理)
 - ③発表

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(部会長)

岩井 浩

(副部会長)

三宅 康一

(委員)

山花 啓伸 泉 敏子 齊藤 常雄 木下 喜彦

村瀬 豊穂 日野 真代 高田 悦子 山本 直彦

(事務局)

政策戦略課長 佐々木卓也 政策戦略課 木下健太郎

政策戦略課 奥本 貴史

開 会 (18時00分)

1. 地域部会協議

(1) 第3回以降の地域部会の進め方について

①検討スケジュールについて

②ワークショップ形式による検討について

○事務局より、地域部会における今後の検討スケジュールおよび、ワークショップ形式により検討を進めることについて説明。

[質 疑]

質問・意見は特になかった。

(2) ワorkshop形式による検討

①事務局よりテーマ・資料等の説明

○事務局より、本日の検討テーマ(西小倉地域の抱える課題について考える)と、検討資料について説明。

[質 疑]

[委 員] 検討資料1の左上に記載のある、近鉄小倉駅周辺地区まちづくり構想とはどのような性質のものか。

[事 務 局] 検討資料3と同一のものであって、既に宇治市で策定を行ったものである。検討資料1の左上に示しているのは、検討資料3の中から抜き出した記載である。

②グループワーク(意見交換・意見整理)

○次第(グループ表)に従って、Aグループ、Bグループに分かれたのち、本日のテーマである西小倉地域の抱える課題についてグループワーク形式による意見交換・意見整理を実施。

③発表

[Aグループ]

まず西小倉地域の抱える課題について意見を出し合ったあと、今後の西小倉地域を明るく元気な西小倉、安全で安心な西小倉にしていくために何をしていくべきかについて検討した。

課題としては、地域の子どもが減ってきており、他方で高齢者が増えてきており、認知症の方も増えてきていること。

高齢者の一人暮らし世帯や、空き家も増えてきていること。

駅前には、店舗が少なくなり、夜も暗いので、寂しい様子になってしまっていること。

ホームセンターのような店舗が地域の中になく、食料品の買い物は地域の中でできるが、それ

以外の買い物は地域の外に行く必要があることなどが挙がっていた。

明るく楽しい西小倉のために必要なこととしては、未来を担う子供たちが安全に地域の中で大きくなっていくために、公園や広場があること。

地域の中でスポーツや音楽活動、マルシェなどができる場所、若い人から老人まで地域の皆さんが集まれる機能を持った場所があること。

色々な機能が一つに集まっている複合施設のようなものがあることなどの意見が出た。

安全・安心な西小倉地域のために検討すべきこととしては、小学校が廃校となったあとの避難所のこと。

西消防署も老朽化しているということなので、建て替えの際に移設して、その跡地を新たにできる小中一貫校の敷地の一部とすること。

財源確保のために小学校跡地を売却する場合には、全部売却以外に例えば一つの敷地の半分を売却して残りを公共で活用することも検討したいなどの意見があった。

[Bグループ]

概ねAグループと同様の意見が出ていたが、Bグループでは、西小倉地域の道は側溝の蓋のない部分が多いことや段差が多く、自転車やベビーカー、車イスの移動の際に不便な道が多いという意見が出ていた。また、踏切などによる交通渋滞や、北小倉小学校付近など照明がほとんどなく夜に真っ暗になる場所がある事も課題として挙がっていた。

あと、子どもが安全に遊べる場所が必要。芝生広場が欲しいという意見も出ていた。

部会長より、次回の日程および検討内容については事務局と調整の上決定していく旨の説明があり、その後、閉会が宣言された。

閉 会 (19時50分)